

の行衛を縛つて居りました。米國にも陳州にもかかる例は見られますまい。日本軍の強いといふのは偶然であまりませぬ

▲戦時にも優る熱心

演習會場附近人民の熱心な有様は前日も申上げました。私に來米したに違ふ一例とせまいた。私共の宿舍の隣に善仁堂（院主は岩間太郎氏）といふ病院があります。此

に於て正しく李王朝の尤も怖る

は此第三師團及び其友軍

る第一師團の右し日夜一意其接

に奔走して居られるとい

紙によりて屢々報じたる如く日
中にて着々其歩を進めつゝわり

であつた。養父の勇五郎はまた寧ろ平常すら膳酒に舌鼓打つ身の、

「お客さんは可所の書生さんだ

2
D
O

北海道拓殖促進策

(北海道的長官河島淳茂氏談)

日我道廳が執る所の拓殖方針上、最も重要なる所ものは、家族を引續め來る自作農に外ならず。故に余は是等の自作農に對しては十町歩以内の程度に於て無條件下をなし、開墾終了後に所有權付與せんと欲す。而して大規模な耕作農者に對しては樹木及地積に就て各該農者に對しては樹木及地積に就て各該有價の方針を探り、或期間に於て開墾を終了せざるか、又は開墾を下げざるに於て否かを、斷然沒收する權、法律を改正したる由。何故に自作農と小作制度を建てんや。大規模の大農出願者の間に所有權の區別を立て、且つ有價の方に對し嚴格取締法を設くる必要あるかと云ふ。

大規模の開墾者は小作人を募り開墾を終了し込むはするものも、其の名前入表は責任ある總代は渡讓せず、折角迄にし小作人をして立往生せしむること任じたり。其の地面の大改善せられ、土地の改良に至れば、地主は必ひ自ら前日に檢査するに至れば、令國つゝま子などといふ方でありました。小説にもあつたやうで實に立派な家だ、早速手紙に認めて郷里の娘に申し送りました。

新停車場敷地 税關開設工事に關せし阜平の南に面じ之と聯絡を保ちて當港に於る貨物の集散の地點となるべく工事費四十萬圓を投じて經營中の新設釜山停車場は敷地面積二萬坪にして三十九年四月廿日工事着手以來着々進歩しつゝあり既に九分通りの竣成を告げたるにして豫定期日（四十年四月）に先ちて竣工すべし目下埋立に要する土砂は釜山鎮より滾漕艇及船約百隻を分通りの埋立を終りたるが土砂は大福町より七十噸を設け二百坪にして海岸は拾石れり一日の工程約三百坪にして來年中竣成の豫定の、此工事費豫算十五萬圓

●税關阜頭 税關工事部第二期工事なりし税關阜頭は工事費十二萬圓を投じて客月三十一日を以て全部の竣工を告げたるを以て

●船溜工事 本年四月一日の起工にして間字形となせる周圍約千坪船溜工事と税關工事部の經營と其費面約七坪而し將來に於ける船板の市街地形成るべき埋築工事は釜山埋築會社の第二期工事として目下三分通りの埋立を終りたるが土砂は大福町よりするものと北濱よりするものと二線のトリ

●新停車場敷地 税關開設工事に關せし阜平の南に面じ之と聯絡を保ちて當港に於る貨物の集散の地點となるべく工事費四十萬圓を投じて經營中の新設釜山停車場は敷地面積二萬坪にして三十九年四月廿日工事着手以來着々進歩しつゝあり既に九分通りの竣成を告げたるにして豫定期日（四十年四月）に先ちて竣工すべし目下埋立に要する土砂は釜山鎮より滾漕艇及船約百隻を分通りの埋立を終りたるが土砂は大福町より七十噸を設け二百坪にして海岸は拾石れり一日の工程約三百坪にして來年中竣成の豫定の、此工事費豫算十五萬圓

●税關阜頭 税關工事部第二期工事なりし税關阜頭は工事費十二萬圓を投じて客月三十一日を以て全部の竣工を告げたるを以て

は松の内、それともまだ三ヶ日と云
田作、煮豆、藪子、煮菜などを
餅の刺身を唯一の肴に、既や余程
ものどけ、蘇ら餅を赤銅色に上
にも愉快さうに杯を傾けて居る
ガツリと開けた音に、其ぞ知つた
夏れ聲で
健かニ

きんぎょ



「何ッッ書生……然うか、私
富家の若旦那何かと思つて居
何かでは爲方が無いね。」
と、張合の抜けたやうに言つて
杯に口を附けて
「しかし、まゝ書生にし
れるのは結構だ。人氣が無さ

招んで奥
 其處に居
 ちやうど
 書生や
 した何所
 へ

-359-

武官の大演習
(某強國武官の批評)

▲上等兵にして此材幹
私に第十五師團しだんの防糧工事ほうりょうこうじを見て

る時一
人の辛苦をも甚酷せず
して巨利を博するを常と

防波突堤を設け固

「ハア。」

今

私の傍に居た人が、先代の様子を

100

り北に次第に蔓延し去るを見る長

三師團歩兵の並木坪、藏井、片

に^{いた}互^{あひ}るを敵^{てき}に見^みせたのを答^{こた}めて

敵に背を見せる 其の土地を保有す

間は唯小作料を引上げ
を更むる

るべく露港の將才亦大に面目
あるべしといふ

でも宜いからと仰しやるし、そ

く看板を掲げるやうになつて呉
れども旨い寝酒の一つも飲めない

①

すして統治問題の全體なり即ち統火討伐の外更に別機の手段無かる可からざるを念ふ
想ふに當局者必ず深慮あるに深慮あり度
きを望むなりは唯皇統の一機を呈して此
問題の容易なるを吹聴せば則ち足る

一年雜記 對星樓山人

雲硯宮の再興下）
大院君は四十年間皇室と幾度の争鬭を爲し
つゝ、老の將きに至らんとし、而かも到底
皇室との調和成らざるを見て、彼は其孫李
俊緒氏の性格に著しく寛念を増し、雲硯宮
の血統は此種親によりて繋ぎせらるべく豫
上げやうもない素願らしい感觸と我々も申
れども之には所木停車場附近に於ける放列の
掩護が充分有効でありましたから此大部隊
の前進は左程の損害を蒙らずに強襲を遂行
し得たものと見て宜しいとせうさす步兵
隊です

▲掘分裝の女丈夫
私は枳木停車場附近放列の傍にうら若い
分裝の可愛い御嬢さんが股をたる體態を
ともせられず、いと嬉しげに見物をして
ます故、私は「恐くはないか」と尋なす
れ嬢さんは涼しい微笑を含んで「あつし
白い」と答へたまふ見返へりもせずに確

した、偶々第十五師團の一部隊の爲に向
山の高地線より其側面を打たれましたけれ
ども之には所木停車場附近に於ける放列の
掩護が充分有効でありましたから此大部隊
の前進は左程の損害を蒙らずに強襲を遂行
し得たものと見て宜しいとせうさす步兵
隊です

▲掘分裝の女丈夫
私は枳木停車場附近放列の傍にうら若い
分裝の可愛い御嬢さんが股をたる體態を
ともせられず、いと嬉しげに見物をして
ます故、私は「恐くはないか」と尋なす
れ嬢さんは涼しい微笑を含んで「あつし
白い」と答へたまふ見返へりもせずに確

派に開墾せられたる土地も、爲に時ど
如き再び原狀に退步するの不幸を免れざ
るは、現に毛利家の地面の如き、立派
にせられ收穫高逐年増加の景況なりし
小作人等も地主が立派なる毛利家なる
め、病と我が所有地に對するが如き無
以て漸次改良施設する所ありたるに、
一家が一朝にして之を他へ賣却する事
に、非常に小作人等の混亂を慥したる事
が如き、大體に新なる拓地に目論見
るに、到底道義の方針に耐ふ能はざる著
にして、亦余が法律の改正を希望する
るに、顧みるに舊任の狀況は年々退歩

本年二月十三日南原鎮警隊及び郵便局等^ハ來警せし匪徒同部金孟五及金龍文の二名^ハ目下全羅南道谷城郡地方の豪徒に内通し居れりとの情報ありしが去る十四日各自宅に潜伏せしを深知し之を逮捕し目下調中なり^ニ金孟五は該警當時の指揮官にして追擊隊のため警部に賞通鑑劄を受けし痕跡ありと云

文 苑

秋十旬 金子雨翠

外護に散る門内の柳かな
 畫門を鎖せる家や柿亦し
 栗の實が落つる位しや板庇
 秋の空遠山亦く暮れにけり

せうな、
席が丁てから招れて往きましたの、寢
で斯度へ運くなりましたの、寢
掛を脱りつゝ斯う云つて長火鉢の
若精之助が寄席に出ない前
夜更でても歸らうものなら、
揚句に打ら、打本も爲さじき男
之助の人氣が非常な好評なため
一つ見せ
其りやア宜かつた、五
事だらうと思つて、寄席から歸
て、モウ歸るか、歸るかど待つ
奈何だ歸が能く歸てゐるから

へ、又グツと一飲に空けた。――そりやア私だつて、其ののど、
 種古賣てるんだけれど、まと思ふやうにならないうでい
 辛抱して居て下さる、此處に少しは父様の足になる
 云ひつゝ、先刻常盤様で育
 帯の間から取出して、背に
 見ると黄半と平織で、昔に
 拜男と記してある。口の中
 々と進運した。包を繋げ
 は石垣縣の五圓札が三枚

一生懸命に
たばかりで
もう驚く
ケ月も経て
に爲るわ
呉れた紙包
明に讀んで
其下に山田
三度山田々
見れば、中北
あつた。



京博覽會一等金牌受領
純良醬油
登
大阪府堺市
釀造元 戶川源之祐
發賣元 戶川京城支店
特約販賣店
京本町二丁目 本田滿壽男
京本町四丁目 前田喜總
京本町一丁目 唐川立造
京本町二丁目 村田源次郎
京本町二丁目 水原德永仙吉

一各種石炭大販賣
大ノ浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
三池粉炭
三井物産合名會社
京城出張所
仁川出張所
出張所

諸官衙御用品調達
紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物食鹽
織物染料
各學校用品調達
井に
資販托委
藤田合名會社

西洋御料理宴會
日本人俱樂部
京城南山町三丁目(電話二三三番)

京博覽會名譽金牌授領
開店披露
各位益々御清福之段奉賀候降テ本店釀造之清酒ハ是迄韓國各地販賣店ニ於テ御愛顧御引立ヲ蒙リ漸次隆盛ニ趣候段奉深謝候此際一層擴張致サント今回出張店ヲ設置シ十一月二十日開業大勉強仕候ニ付御懇命御引立之程奉願候
敬具
大販賣店 佐藤牧商店
京城本町二丁目(電話二一九)

銀行一般業務精々御便利に取扱申候
積立及繰越金
資本金 七拾貳萬圓
株式會社 十八銀行
京城支店
支店 出張所 長崎貯蓄銀行代理店
其他日本韓國樞要地及露領滿洲に爲替取引先あり
貯蓄預金(利息日歩優待申候)

銀行一般業務精々御便利に取扱申候
資本金 三百萬圓
株式會社 第五十八銀行
京城支店
支店 出張所 長崎貯蓄銀行代理店
其他日本韓國樞要地及露領滿洲に爲替取引先あり
貯蓄預金(利息日歩優待申候)

荷物荷造及運搬
伊藤組
本町三丁目(電話七三三番)

都南白菊
製造發賣元 肥塚京城出張店
大販賣店 佐藤牧商店
京城本町二丁目(電話二一九)

第一銀行京城支店
支店 出張所 長崎貯蓄銀行代理店
其他日本韓國樞要地及露領滿洲に爲替取引先あり
貯蓄預金(利息日歩優待申候)

化粧小間物
河村百福號
電話 四一七

丁稚入用
若林支店
京城本町二丁目(電話一四七番)

大阪商船會社
出帆廣告
大連 門司 橫濱 行
十一月十三日 午前十時出
十一月十三日 午前十時出
十一月十三日 午前十時出

日本郵船會社
出帆廣告
大連 門司 橫濱 行
十一月十三日 午前十時出
十一月十三日 午前十時出
十一月十三日 午前十時出

巴商會
出帆廣告
大連 門司 橫濱 行
十一月十三日 午前十時出
十一月十三日 午前十時出
十一月十三日 午前十時出